

## 1. 令和4（2022）年度動向

### （1）教員養成サポートセンターの取り組み

- ① 教職相談員・職員による教職ガイダンス（教育対策・試験対策 全14回）
- ② 教職相談員による教員採用試験対策講座（全13回）
- ③ 専任教員による教員採用試験対策特別講座（前期・中期・後期 年3回）
- ④ 時事通信出版局による教員採用試験学習対策ガイダンス（4月20日（水）開催）
- ⑤ 教員採用試験対策学内模擬試験（時事通信出版局 全4回）
- ⑥ 卒業生教員と教員志望学生との交流会（8月8日（月）開催）
- ⑦ 教職相談員による教員採用試験二次試験対策勉強会（全453回）
- ⑧ 教員採用試験受験報告会・情報交換会（11月16日（水）開催）
- ⑨ 教職相談員による個別指導（30分予約制）
- ⑩ 教員養成プロジェクト教育拠点校・拠点園実習支援（児童教育学科対象）
- ⑪ 岩手県「スクールトライアル事業」支援（前期・後期）
- ⑫ 滝沢市「ラーニング・サポーター・プロジェクト」支援
- ⑬ 滝沢市「ジュニアリーダーズセミナー」支援（年1回 10月29日（土））
- ⑭ 滝沢市「子ども会リーダー養成研修会」支援（年1回 R5年1月21日（土））
- ⑮ 各教育支援ボランティア活動支援

### （2）各課程の取組み

#### 【幼稚園課程】

- 7月6日 幼児教育講座「実践保育研究会」模擬保育発表  
7月13日 幼児教育講座「実践保育研究会」模擬保育発表  
7月20日 「拠点園実習」報告会  
12月7日 幼児教育講座「実践保育研究会」  
12月14日 「拠点園実習」報告会

#### 【小学校課程】

- 7月13日 児童教育講座「拠点校実習」報告会  
12月10日 児童教育講座「授業コンテスト」  
12月14日 児童教育講座「拠点校実習」報告会

#### 【中学校・高等学校課程】

- 4月18日 特別講師（中学校教員）による授業（英語科）  
4月28日 岩手県立総合教育センターにおける学外授業（ICT活用授業、特別支援教育）（国語科）  
10月18日 滝沢市立滝沢第二中学校授業参観（授業動画撮影）（国語科）  
11月2日 特別講師（中堅教員）による授業（3学科合同）  
同 滝沢市立滝沢第二中学校授業参観（動画視聴代替）（社会科）  
11月9日 特別講師（初任者教育担当教員）による授業（社会科）  
11月16日 特別講師（若手教員）による授業（3学科合同）  
11月21日・12月7日 滝沢市立滝沢第二中学校授業参観（動画視聴代替）（英語科）  
11月30日 特別講師（校長）による授業（3学科合同）

11月10日 滝沢市立滝沢第二中学校授業参観（動画視聴代替）（国語科）

12月5日 特別講師（中学校教員）による授業（英語科）

### （3）教職課程登録者数について

令和4年度教職課程登録者数は、文学部計736名（英文84名、日文115名、社文59名、児童教478名）、栄養科学部29名、短大部181名であった。

在籍者に占める割合は、文学部51.9%、栄養科学部9.7%、短期大学部99.5%となっている。

### （4）教員免許状取得状況について

令和5年3月卒業生で大学を介して一括申請した者は、文学部164名、栄養科学部1名、短期大学部78名。

免許状種別では、幼稚園一種58件、小学校一種81件、中学校一種37件（外国語（英語）17件、国語12件、社会8件）、高校一種52件（外国語（英語）17件、国語16件、書道3件、地理歴史7件、公民9件）、栄養教諭一種1件、幼稚園二種78件であった。中学校二種（外国語（英語）、国語、社会、小学校）も合わせて29件の申請を行った。

### （5）教育実習者数・事前指導について

#### ① 教育実習者数について

令和4年度教育実習者数は、文学部230名、栄養科学部2名、短期大学部176名であった。

#### ② 教育実習事前指導について

別表参照（75頁）

### （6）介護等体験の実施状況について

令和4年度に「介護等体験」を実施した学生数は、117名であった。

新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大を受けて、社会福祉施設での体験は対象者の制限に合致しなかったことにより大学として辞退するに至った。

特別支援学校での体験は13校から受け入れていただいた。

申し込み機関と受入れ人数は以下のとおり。

岩手県教育委員会 126名（登録人数126名）

新型コロナウイルス感染症の影響により介護等体験を行うことが困難になった学生に対し、文科省が「令和2年度から令和4年度までの間に限り特例的に行う介護等体験の代替措置の開設手続」が通知されたことを受けて、本学は大臣決定1（4）の規定により、特総研の免許法認定通信教材の印刷教材により学修する措置を選択し開設した。

この措置に基づき学修報告書を提出した学生は、117名。うち「視覚障害児の教育課程と指導法」を選択した者は75名、「聴覚障害児の教育課程と指導法」を選択した者は42名という内訳となった。

## 教育実習の事前指導(令和4年度)

対象: 小学校教育実習仮登録者

日時	回数	担当者	科目名	概要
令和3年12月1日	1	児童教育学科 大西・間處・山口・笹平	教育実習事前事後指導Ⅰ	参観授業研修会(学内にて実施)
令和4年2月3日	1	児童教育学科 大西・間處・山口・笹平	教育実習事前事後指導Ⅰ	教育実習体験報告会
令和4年3月31日、4月1日	1	児童教育学科 大西・間處・山口・笹平	教育実習事前事後指導Ⅰ	集中講義

対象: 幼稚園教育実習仮登録者

日時	回数	担当者	科目名	概要
令和3年12月9日	1	児童教育学科 市原・石川		教育実習体験報告会
令和4年度前期	15コマ	児童教育学科 市原・石川	教育実習事前事後指導Ⅱ	通常授業

対象: 中学校・高等学校教育実習仮登録者(英語)

日時	回数	担当者	科目名	概要
令和3年11月	1	英語文化学科 山形・新沼	英語科教育法Ⅳ	授業参観(学内にて実施)
令和4年3月31日	1	英語文化学科 山形・新沼	教育実習事前事後指導	集中講義
令和4年度前期	15コマ	英語文化学科 山形・新沼	教育実習事前事後指導	通常授業
令和4年4月	1	英語文化学科 山形・新沼	教育実習事前事後指導	特別講師(ネイティブ)

対象: 中学校・高等学校教育実習仮登録者(国語)

日時	回数	担当者	科目名	概要
令和3年11月	1	日本文学科 遠藤	国語科教育法Ⅱ	授業参観(学内にて実施)
令和4年3月31日	1	日本文学科 遠藤	教育実習事前事後指導	集中講義
令和4年度前期	15コマ	日本文学科 遠藤	教育実習事前事後指導	通常授業
令和4年4月28日	1	日本文学科 遠藤	教育実習事前事後指導	学外授業

対象: 中学校・高等学校教育実習仮登録者(社会・地歴・公民)

日時	回数	担当者	科目名	概要
令和3年11月	1	社会文化学科 上白石	社会科・地歴科教育法Ⅱ	授業参観(学内にて実施)
令和4年3月31日	1	社会文化学科 上白石	教育実習事前事後指導	集中講義
令和4年度前期	15コマ	社会文化学科 上白石	教育実習事前事後指導	通常授業

対象: 教育実習仮登録者(全学科)

日時	回数	担当者	ガイダンス名	概要
令和3年3月	2	教員養成サポートセンター 教職課程課	仮登録ガイダンス	仮登録方法の説明
令和3年7月	5	教員養成サポートセンター 教職課程課	依頼状配布ガイダンス	依頼状持参の説明
令和4年1月	2	教員養成サポートセンター 教職課程課	身上書ガイダンス	身上書記入方法の説明
令和4年3月	2	教員養成サポートセンター 教職課程課	履修承認者ガイダンス	教育実習の事前準備等

## 2. 令和5（2023）年度動向

### （1）教員養成サポートセンターの取り組み

- ① 教職相談員・職員による教職ガイダンス（教育対策・試験対策 全14回）
- ② 教職相談員による教員採用試験対策講座（全12回）
- ③ 専任教員による教員採用試験対策特別講座（前期・中期・後期 年3回）
- ④ 時事通信出版局による教員採用試験学習対策ガイダンス（4月26日（水）開催）
- ⑤ 東京アカデミー仙台校による教員採用試験対策ガイダンス（12月20日（水）開催）
- ⑥ 教員採用試験対策学内模擬試験（時事通信出版局 全4回）
- ⑦ 卒業生教員と教員志望学生との交流会（8月2日（水）開催）
- ⑧ 教職相談員による教員採用試験二次試験対策勉強会（全492回）
- ⑨ 教員採用試験受験報告会・情報交換会（11月15日（水）開催）
- ⑩ 教職相談員による個別指導（30分予約制）
- ⑪ 教員養成プロジェクト教育拠点校・拠点園実習支援（児童教育学科対象）
- ⑫ 岩手県「スクールトライアル事業」支援（前期・後期）
- ⑬ 滝沢市「ラーニング・サポーター・プロジェクト」支援
- ⑭ 滝沢市「ジュニアリーダーズセミナー」支援（年1回 10月28日（土））
- ⑮ 滝沢市「子ども会リーダー養成研修会」支援（年1回 12月9日（土））
- ⑯ 各教育支援ボランティア活動支援

### （2）各課程の取組み

#### 【幼稚園課程】

- 7月12日 幼児教育講座「実践保育研究会」クラス代表プレゼンテーション  
7月19日 「拠点園実習」報告会  
12月13日 幼児教育講座「実践保育研究会」  
12月20日 「拠点園実習」報告会

#### 【小学校課程】

- 7月5日 児童教育講座「拠点校実習」報告会  
7月12日 児童教育講座・児童英語教育講座「テーマ劇コンテスト」視聴  
12月20日 児童教育講座「拠点校実習」報告会  
1月10日 児童教育講座・児童英語教育講座「テーマ劇コンテスト」視聴

#### 【中学校・高等学校課程】

- 4月24日 特別講師によるTeam Teachingに関する特別授業（英語科）  
4月28日 岩手県立総合教育センターにおける学外授業（ICT活用授業、特別支援教育）（国語科）  
7月12日 特別講師（中学校教員）による授業（国語科）  
10月11日 特別講師（若手教員）による授業（3学科合同）  
11月1日 特別講師（中堅教員）による授業（3学科合同）  
11月7日 滝沢市立滝沢第二中学校授業参観（英語科・国語科）  
11月8日 滝沢市立滝沢第二中学校授業参観（社会科）  
11月29日 特別講師（校長）による授業（3学科合同）

12月9日 特別講師（高校教員）による授業（国語科）←土曜補講日

### （3）教職課程登録者数について

令和5年度教職課程登録者数は、文学部計587名（英文76名、日文111名、社文69名、児教331名）、栄養科学部12名、短期大学部169名であった。

在籍者に占める割合は、文学部43.3%、栄養科学部4.2%、短期大学部97.7%となっている。

### （4）教員免許状取得状況について

令和6年3月卒業生で大学を介して一括申請した者は、文学部167名、栄養科学部3名、短大部91名。

免許状種別では、幼稚園一種60件、小学校一種87件、中学校一種41件（外国語（英語）18件、国語13件、社会10件）、高校一種52件（外国語（英語）21件、国語14件、書道4件、地理歴史10件、公民8件）、栄養教諭一種3件、幼稚園二種91件であった。中学校二種（外国語（英語）、国語、社会）も合わせて7件の申請を行った。

### （5）教育実習者数・事前指導について

#### ① 教育実習者数について

令和5年度教育実習者数は、文学部197名、栄養科学部4名、短期大学部162名であった。

#### ② 教育実習事前指導について

別表参照（78頁）

### （6）介護等体験の実施状況について

令和5年度に大学を通じて手続し、「介護等体験」の実施を完了した学生数は、133名であった。

年度当初、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大を受け、文科省が令和5年2月28日付で「令和2年度から令和5年度に限り特例的介護等体験の代替措置」を通知したことを受けて、本学は引き続き代替措置（4）の規定による印刷教材により学修する措置を開設した。

社会福祉施設において対象学生の制限が緩和されたことにより、2年次生も実施対象者とされたことにより27施設で受入れを再開いただくことができ、また、特別支援学校での体験は13校に受け入れていただいた。

申し込み機関と受入れ人数は以下のとおりである。

岩手県社会福祉協議会 133名（登録人数145名）

岩手県教育委員会 133名（登録人数145名）

## 教育実習の事前指導(令和5年度)

対象: 小学校教育実習仮登録者

日時	回数	担当者	科目名	概要
令和4年10月6日	1	児童教育学科 大西・間處・笹平	教育実習事前事後指導Ⅰ	授業参観及び参観授業研修会(盛岡市立北厨川小学校)
令和4年10月13日	1	児童教育学科 大西・間處・笹平	教育実習事前事後指導Ⅰ	授業参観及び参観授業研修会(滝沢市立滝沢東小学校)
令和5年1月31日	1	児童教育学科 大西・間處・笹平	教育実習事前事後指導Ⅰ	教育実習に係る特別講師による指導「教育実習体験報告会」
令和5年3月30日～31日	1	児童教育学科 大西・間處・笹平	教育実習事前事後指導Ⅰ	集中講義(対象: R5年度)

対象: 幼稚園教育実習仮登録者

日時	回数	担当者	科目名	概要
令和4年12月7日	1	児童教育学科 市原・石川		教育実習体験報告会
令和5年度前期	15コマ	児童教育学科 石川・塩谷彩	教育実習事前事後指導Ⅱ	通常授業

対象: 中学校・高等学校教育実習仮登録者(英語)

日時	回数	担当者	科目名	概要
令和4年11月	1	英語文化学科 山形・新沼	英語科教育法Ⅳ 教職実践演習	授業参観(学内にて実施)
令和5年度前期	15コマ	英語文化学科 山形・新沼	教育実践研究 教育実習事前事後指導	通常授業
令和5年4月4日	1	英語文化学科 山形・新沼	教育実習事前事後指導	集中講義
令和5年4月	1	英語文化学科 山形・新沼	教育実践研究	特別講師(ネイティブ)

対象: 中学校・高等学校教育実習仮登録者(国語)

日時	回数	担当者	科目名	概要
令和4年11月	1	日本文学科 遠藤	国語科教育法Ⅳ	学外授業(新型コロナ対策のため 動画による授業参観で代替)
令和5年度前期	15コマ	日本文学科 遠藤	教育実習事前事後指導	通常授業
令和5年4月4日	1	日本文学科 遠藤	教育実習事前事後指導	集中講義
令和5年4月	1	日本文学科 遠藤	教育実習事前事後指導	学外授業(岩手県立総合教育センター)

対象: 中学校・高等学校教育実習仮登録者(社会・地歴・公民)

日時	回数	担当者	科目名	概要
令和4年11月	1	社会文化学科 上白石	社会科・地歴科教育法Ⅱ	授業参観(滝沢第二中学校)
令和5年度前期	15コマ	社会文化学科 上白石	教育実習事前事後指導	通常授業
令和5年4月4日	1	社会文化学科 上白石	教育実習事前事後指導	集中講義

対象: 教育実習仮登録者(全学科)

日時	回数	担当者	ガイダンス名	概要
令和4年3月	2	教員養成サポートセンター 教職課程課	仮登録ガイダンス	仮登録方法の説明
令和4年7月	5	教員養成サポートセンター 教職課程課	依頼状配布ガイダンス	依頼状持参の説明
令和5年1月	4	教員養成サポートセンター 教職課程課	身上書ガイダンス	身上書記入方法の説明
令和5年3月	2	教員養成サポートセンター 教職課程課	履修承認者ガイダンス	教育実習の事前準備等

### 3. 自己点検・評価（令和4年度実施報告書より抜粋）

#### (1) 盛岡大学

##### I 総合評価

###### 1 全学体制としての教員養成サポートセンター管理委員会及び専門委員会

大学の文学部及び短期大学部の教職課程全般を掌握し、関連する事項の円滑な検討と運用を行うため、全学組織として「教員養成サポートセンター専門委員会」及びその上位組織として学長を委員長とする「教員養成サポートセンター管理委員会」を設置、運営している。専門委員会の組織は、教員養成サポートセンター所長のほか、当該学科より選出された教職課程担当教員により構成されている。年度初めのオリエンテーション期間に行われる教職ガイダンス、学期中に数回行う教育実習関連ガイダンス、介護等体験関連ガイダンス、教員採用特別講座は、教員養成サポートセンター専門委員会が責任をもって行っている。

また、教職課程にかかわる教員の教職教育を主たる研究領域とする研究誌『教職研究』を隔年で発刊している。

###### 2 教職支援相談室における指導・支援体制

教員経験者を複数配置し、進路相談に始まり、論作文指導、理数系科目指導などを個別指導形式で行うほか、1年次から参加可能な教員採用試験対策の支援業務として定期的な講座開設により教職への意識を高め、教員養成をサポートしている。

###### 3 学校ボランティア等の活動支援

大学が所在する滝沢市を始め、盛岡市、矢巾町等の教育委員会と連携したラーニングサポーター制度を利用し小学校・中学校に学生を派遣する事業を支援している。学生は教員としての訓練ができるばかりでなく、現場を知ることで各自の課題に気づき、大学に戻ってさらに学ぶ意味を自覚することができ、教員志望の思いを強くする機会となっている。

###### 4 教育委員会及び地域との連携

上記3の学校ボランティアでの地域連携のほか、教育実習を引き受けていただいている教育委員会から本学の教員養成に対するご意見をいただき、特に盛岡市教育委員会及び滝沢市教育委員会には、小中高あわせて25校の教育実習協力校の体制維持に協力いただいている。

#### II 「教職課程自己点検評価報告書」作成プロセス

##### 1 実施決定、実施方針及び手順

###### (1) 実施決定

盛岡大学の教職課程の自己点検・評価は、教員養成サポートセンター管理委員会の発議で、教員養成サポートセンター専門委員会が行うことを文学部、栄養科学部教授会の議を経て学長が決定する。

###### (2) 実施方針及び手順

令和3年5月の文科省「自己点検・評価等ガイドライン」通知を受け、同年7月には、教員養成

サポートセンター専門委員会（以下「専門委員会」という。）において実施方針及びスケジュール案、検討課題の確認を行い、実施までの手順を次のように決定した。

- ① 実施決定・合意を得る。
- ② 関係省令及び文科省「教職課程の自己点検・評価及び全学的に教職課程を実施する組織に関するガイドライン（R3.5.7）」等の充足状況を確認する。
- ③ 各教職課程の点検・評価の進め方について検討・協議を行う。
- ④ 教サポ専門委員会と各教職課程の実施手順について最終調整を行う。
- ⑤ 教サポ専門委員会を軸に自己点検・評価を実施する。
- ⑥ 作業を集約し書面にまとめ、「教職課程自己点検評価報告書」（または評価シート）を編集し、学長並びに教サポ管理委員会から確定のための承認を得る。
- ⑦ 教免法施行規則第22条の6に基づき、情報公表する。
- ⑧ 「教職課程自己点検評価報告書」（または評価シート）完成・公表に基づき、教職課程の改善・向上に向けたアクション・プランを検討・策定する。

## 2 評価基準

（一社）全国私立大学教職課程協会が策定した「教職課程 自己点検・評価基準」を採用する。

## 3 評価分担

評価項目ごとに、大学全体レベル、学科レベル、授業レベルの3つの視点で点検することとし、執筆担当としては、教員養成サポートセンター専門委員会委員である教職課程担当教員を軸に、教員養成サポートセンター（教職課程課職員、教職支援対策課職員）があたることとした。

教員養成サポートセンター管理委員会が点検内容（報告書）をもとに評価を行う。

## Ⅲ 「現況基礎データ一覧」

令和3年5月1日

設置者： 学校法人盛岡大学						
大学・学部名称 盛岡大学 文学部 栄養科学部						
文学部： 英語文化学科 日本文学科 社会文化学科 児童教育学科 栄養科学部： 栄養科学科						
<b>1 卒業者数、教員免許取得者数、教員就職者数等</b>						
①	昨年度卒業者数					428
②	①のうち、就職者数（企業、公務員等を含む。）					312
③	①のうち、教員免許状取得者数の実数（複数免許状取得者も1と数える）					183
④	②のうち、教職に就いた者の数（正規採用＋臨時的任用の合計数）					82
	④のうち、正規採用者数					54
	④のうち、臨時的任用者数					28
<b>2 教員組織</b>						
	教授	准教授	講師	助教	その他	兼務教員
教員数	36	18	1	6	5	108
相談員 （専門職員）	3名（任期付1名を含む。）					



## (2) 盛岡大学短期大学部

### I 総合評価

#### 1 全学体制としての教員養成サポートセンター管理委員会及び専門委員会

大学の文学部及び短期大学部の教職課程全般を掌握し、関連する事項の円滑な検討と運用を行うため、全学組織として「教員養成サポートセンター専門委員会」及びその上位組織として学長を委員長とする「教員養成サポートセンター管理委員会」を設置、運用にあたっている。専門委員会の組織は、教員養成サポートセンター所長のほか、当該学科より選出された教職課程担当教員により構成されている。年度初めのオリエンテーション期間に行われる教職ガイダンス、学期中に数回行う教育実習関連ガイダンス、介護等体験関連ガイダンス、教員採用特別講座は、教員養成サポートセンター専門委員会が責任をもって行っている。

また、教職課程にかかわる教員の教職教育を主たる研究領域とする研究誌『教職研究』を隔年で発刊し、実践及び研究の発表の場としている。

#### 2 教員養成

短期大学部の「幼稚園二種免許状」に関するカリキュラム、教育実習の実質的運用は未だ移管（一本化）されているとはいえない。教員養成の取り組みが運動しづらいのは、カリキュラム上も「幼稚園教諭」は「保育士課程」とリンクする比重が大きく、「幼小教職課程」の括りで「教職支援」をとらえ、「採用試験」に向けた取り組みを必要とする文学部のそれとは違うからであると考えられる。また、短期大学部独自に培ってきた就職率100%のノウハウがあり、それは「教職支援」に特化したものに限らない。

#### 3 地域との連携

1年次の「観察実習」に始まり、2年次の「幼稚園実習」へと進む過程で、就職を望む地域での実習を希望する学生が多く、そうした「協力園」との連携により実習体制を維持している。

## II 「教職課程自己点検評価報告書」作成プロセス

#### 1 実施決定、実施方針及び手順

##### (1) 実施決定

盛岡大学短期大学部の教職課程の自己点検・評価は、教員養成サポートセンター管理委員会の発議で、教員養成サポートセンター専門委員会が行うことを短期大学部教授会の議を経て学長が決定する。

##### (2) 実施方針及び手順

令和3年5月の文科省「自己点検・評価等ガイドライン」通知を受け、同年7月には、教員養成サポートセンター専門委員会（以下「専門委員会」という。）において実施方針及びスケジュール案、検討課題の確認を行い、実施までの手順を次のように決定した。

- ① 実施決定・合意を得る。
- ② 関係省令及び文科省「教職課程の自己点検・評価及び全学的に教職課程を実施する組織に関するガイドライン（R3.5.7）」等の充足状況を確認する。
- ③ 各教職課程の点検・評価の進め方について検討・協議を行う。
- ④ 教サポ専門委員会と各教職課程の実施手順について最終調整を行う。

- ⑤ 教サポ専門委員会を軸に自己点検・評価を実施する。
- ⑥ 作業を集約し書面にまとめ、「教職課程自己点検評価報告書」（または評価シート）を編集し、学長並びに教サポ管理委員会から確定のための承認を得る。
- ⑦ 教免法施行規則第22条の8に基づき、情報公表する。
- ⑧ 「教職課程自己点検評価報告書」（または評価シート）完成・公表に基づき、教職課程の改善・向上に向けたアクション・プランを検討・策定する。

## 2 評価基準

（一社）全国私立大学教職課程協会が策定した「教職課程 自己点検・評価基準」を採用する。

## 3 評価分担

評価項目ごとに、大学全体レベル、学科レベル、授業レベルの3つの視点で点検することとし、執筆担当としては、教員養成サポートセンター専門委員会委員である教職課程担当教員を軸に、教員養成サポートセンター（教職課程課職員、教職支援対策課職員）があたることとした。

教員養成サポートセンター管理委員会が点検内容（報告書）をもとに評価を行う。

## Ⅲ 「現況基礎データ一覧」

令和3年5月1日

設置者： 学校法人盛岡大学						
大学・学部名称 盛岡大学短期大学部						
学科やコースの名称 幼児教育科						
<b>1 卒業者数、教員免許取得者数、教員就職者数等</b>						
①	昨年度卒業者数					104
②	①のうち、就職者数（企業、公務員等を含む。）					95
③	①のうち、教員免許状取得者数の実数（複数免許状取得者も1と数える）					102
④	②のうち、教職に就いた者の数（正規採用＋臨時的任用の合計数）					43
	④のうち、正規採用者数					35
	④のうち、臨時的任用者数					9
<b>2 教員組織</b>						
	教授	准教授	講師	助教	その他	兼務教員
教員数	7	4	0	2	0	18
相談員 (専門職員)	3名（任期付1名を含む）					

## 4. 関係委員会等名簿

### (1) 教員養成サポートセンター管理委員会 (令和4年度)

委員長	高橋 俊和	(学長)
委員	斎藤 成夫	(文学部長)
委員	太田 徹	(栄養科学部長)
委員	大塚 健樹	(短期大学部長)
委員	間處 耕吉	(教員養成サポートセンター所長)
(委員)	遠藤可奈子	(教員養成サポートセンター副所長)

### 教員養成サポートセンター管理委員会 (令和5年度)

委員長	高橋 俊和	(学長)
委員	斎藤 成夫	(文学部長)
委員	太田 徹	(栄養科学部長)
委員	菊池由美子	(短期大学部長)
委員	山形 守平	(教員養成サポートセンター所長)
委員	石川 悟司	(教員養成サポートセンター副所長)

### (2) 教員養成サポートセンター専門委員会 (令和4年度)

#### (教職課程委員会)

#### (教職支援対策委員会)

委員長	間處 耕吉	(教員養成サポートセンター所長／児童教育学科教授)
副委員長	遠藤可奈子	(教員養成サポートセンター副所長／日本文学科教授)
委員	新沼 史和	(文・英語文化学科教授)
委員	山形 守平	(同 教授)
委員	上白石 実	(文・社会文化学科教授)
委員	市原 常明	(文・児童教育学科教授)
委員	石川 悟司	(同 教授)
委員	大西 洋悦	(同 教授)
委員	笹平真之介	(同 助教)
委員	川越有見子	(栄・栄養科学科教授)
委員	大塚 健樹	(短・幼児教育科教授)

## 教員養成サポートセンター専門委員会（令和5年度）

（教職課程委員会）

（教職支援対策委員会）

委員長	山形 守平	（教員養成サポートセンター所長／英語文化学科教授）
副委員長	石川 悟司	（教員養成サポートセンター副所長／児童教育学科教授）
委員	新沼 史和	（文・英語文化学科教授）
委員	遠藤可奈子	（文・日本文学科教授）
委員	上白石 実	（文・社会文化学科教授）
委員	大西 洋悦	（文・児童教育学科教授）
委員	間處 耕吉	（同 教授）
委員	笹平真之介	（同 准教授）
委員	塩谷 彩花	（同 准教授）
委員	佐藤 彩香	（同 助教）
委員	長山 弘	（同 助教）
委員	村元 美代	（栄・栄養科学科教授）
委員	吉村 哲	（短・幼児教育科准教授）

### (3) 介護等体験担当者会（令和4年度）

山形 守平	（英語文化学科教授）
新沼 史和	（同 教授）
遠藤可奈子	（日本文学科教授）
上白石 実	（社会文化学科教授）
石川 悟司	（児童教育学科教授／学科長）
大西 洋悦	（同 教授）

### 介護等体験担当者会（令和5年度）

山形 守平	（英語文化学科教授）
新沼 史和	（同 教授）
遠藤可奈子	（日本文学科教授）
上白石 実	（社会文化学科教授）
間處 耕吉	（児童教育学科教授／学科長）
大西 洋悦	（同 教授）